

| | | | | | | | | |
|-----|-------------------|----------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| 自治会 | 自治会名 | 漆戸自治会 | | | | | | |
| | 自治会名 拠点住所 | 上田市漆戸-12 | | | | | | |
| | URL | なし | | | | | | |
| | 拠点施設名 公民館・自治会館 | 漆戸公民館 | | | | | | |
| | 世帯数 該当施設に○印 | 50未満 | 100以下 | 250以下 | 500以下 | 750以下 | 1000以下 | 1000以上 |

位置

漆戸地域は上田市東部に位置し神川沿いに自然に恵まれた田園地域です。殿城地域(漆戸)は中世期東御一帯を支配した海野氏の影響下にあり、戦国期は真田氏との係わりを色濃くし、近世にあつては上田藩に属さず、旗本領として代官が統治しました。

漆戸の呼称

漆戸地域の呼称については、諸説があります。資料的裏付けは少ないが、神川沿いに浅間サンラインまでに広がる場所(豊殿産業団地)の事前発掘調査がされ、太田法楽寺遺跡が発見されました。

縄文後期にかけての太田法楽寺遺跡から、200軒近くの竪穴住居址が発見されました。住居址の他に、砕けた五輪塔が沢山出土し、堀の跡と見られる遺構も発見され、文献に出てこないが、法楽寺があつたのではないかと思われま

す。茅御堂とか漆戸という地名も寺に関連するもので、漆塗りの門があつたことから漆戸と呼ばれている様です。

又、集落が20戸に満たない小さな村が何故一村として成り立っていたのか？

大漢和辞典に「漆戸」=うるしの製造工場と掲載。

「漆」は「黄金」・「朱」と並んで古代からの貴重品として扱われています。

「漆」の採取林は岩清水にあり原料は地元で賄っていたと思われま

す。其の財力は周囲の大村と同等で豊かな村だった事が判ります。

何時の頃か「漆」を製造しなくなったのか不明です。

漆戸の名は室町末期の海野氏の所領の中に水田面積が三町歩と記載されている文献があります。この頃から稲作が主流となったようです。

室町末期・海野領から戦国期・真田領、そして上田藩となり寛文(1669)年、殿城(漆戸)8カ村は矢沢旗本領となりました。

この時の石高は「65貫、160石」となり、家数は16軒、となっています。

漆戸の地域性

- ① 集落の東側入り口に道祖神があり、病、災害の侵入を防いでいます。
- ② 集落西側には子育て観音堂があります。尼寺の堂として建てられたものといわれています。観音様と鬼子母神様が両側に祀られています。
子宝に恵まれる様に、安産である様にと願い近隣からもお札を、授かってお参りをします。毎年三月には、観音堂に女性・子供が集まりお祭りをします。
- ③ 集落西側詰めに八千原古代公園があります。平成元年に圃場整備事業に伴って発掘調査により八千原遺跡が発見されました。
調査の結果、縄文中期から後期と推定され竪穴住居跡は68軒が確認され、敷地内の地下には2軒の敷石住居跡が元の位置のまま埋めて保存されています。

| | |
|---------------|--|
| | <p>※自治会内を5班で運営。</p> <p>執行部 …… 自治会長・副自治会長・兼会計・協議委員 8名</p> <p>役員選出 …… 自治会長:役員⇒自治会長&役員選考委員会による</p> <p>役員任期 …… 執行部は任期1年 班長は任期1年</p> <p>定時総会 …… 毎年1月の第一日曜日、午前9時</p> |
| 主な行事 | 環境美化運動-年3回、地域草刈り(春、夏、秋、)-年3回、漆戸緑地保全整備-年3回 敬老お楽しみ会(日帰り温泉)、軽スポーツでの交流会、健康教室(ふれあい昼食会) 子育て観音堂-3月第一日曜日、観音さま会 |
| 第一次 避難場所 | 施設名 漆戸公民館 住所 上田市漆戸-12 |
| その他 避難場所 | 豊殿自治センター 豊殿小学校 |
| 防犯・防災 | 管轄消防団…第十三分団 |
| 環境 資源・ゴミ回収 | 八千原古代公園環境美化&保全整備(上田市公園管理課より依頼) |
| その他 | 文館活動 …… 分館5役…分館長、副分館長、分館主事、青少年育成 推進指導委員、人権教育推進委員 |